

要 望 書

高速道路のミッシングリンクを解消し、日本の再生を実現するために

近年全国各地で、平成30年7月豪雨や台風、山形県沖地震や北海道胆振東部地震、豪雪などの大規模な災害が頻発し、高速道路ネットワークが広域的に通行止めとなるなど、物流の停滞によって日本経済の活動に多大な影響を及ぼしています。南海トラフ地震をはじめとする大規模災害の発生も危惧されている中で、災害時にも機能する信頼性の高い高速道路ネットワークによりリダンダンシーを確保し、経済的損失を最小限に留めるためにもミッシングリンクの早期解消は喫緊の課題です。

加えて、高速道路ネットワークは、緊急搬送や限られた医療資源の活用・連携に資する「命の道」として機能するとともに、企業進出、販路拡大及び生産性の向上による産業振興や、国内・訪日外国人旅行客の周遊エリア及び滞在時間の拡大による観光振興等の様々なストック効果を発揮し、我が国の経済成長を支える最も基幹的な社会資本として、日本再生の実現に大きく寄与するものです。

しかしながら、全国には未だ多くのミッシングリンクが存在しており、国民生活の安心・安全の確保や、地方創生による日本経済の発展のためには、高速道路ネットワークの早期形成が必要不可欠です。

よって、ここに以下のとおり要望します。

- 一、発生が危惧されている大規模災害に備え国土強靱化を進めるためには、ミッシングリンクの早期解消を図り、リダンダンシーを確保して我が国の防災基盤として整備する必要があることから、高速道路ネットワークの早期形成を図ること。
- 一、ストック効果を最大限に発揮し、地方創生に向けた具体的な取組みによる地域経済の再生を実現するためには、ミッシングリンクの解消は必要不可欠であり、未事業化区間の計画段階評価などの速やかな実施と早期事業化を図ること。
- 一、ミッシングリンクの解消が計画的かつ着実に進められるよう令和2年度道路関係予算は整備に必要な予算を確保するとともに、防災・減災対策や老朽化対策を含め長期安定的に道路整備・管理が進められるよう新たな財源を創設すること。
- 一、高速道路会社が管理する暫定2車線の有料区間については、高速道路が本来有すべき安全性・定時性を確保するとともに大規模災害時など防災上の観点からも「高速道路における安全・安心計画」において、4車線化の優先整備箇所として位置付けること。

令和元年8月7日

『高速道路のミッシングリンクを解消し日本の再生を実現する10県知事会議』

山形県知事	吉村美栄子	山口県知事	村岡嗣政
福井県知事	杉本達治	徳島県知事	飯泉嘉門
和歌山県知事	仁坂吉伸	愛媛県知事	中村時広
鳥取県知事	平井伸治	高知県知事	尾崎正直
島根県知事	丸山達也	宮崎県知事	河野俊嗣